

【高等学校用】

令和4年度学校評価計画

学校名	佐賀県立 唐津商業高等学校
1 前年度 評価結果の概要	① 生徒の進路保障は100%達成した。また、佐賀県内の高校生との県内就職率が66.6%であるなか、本校は67.7%と上回ることができ、一定の成果を得ることができた。 ② 今年度は、生徒が40人増加し、4クラスを維持することができるため、学校に勢いをつけ、唯一無二の魅力ある学校づくりに取り組む姿勢が必要である。
2 学校教育目標	幅広い知識と教養を身に付け、ふるさと唐津や我が国の発展に貢献できる人材(人財)を育成する。 ○ 社会や経済の持続的な発展に寄与できるビジネス教育 ○ ふるさと唐津の様々な資源を活用した探究活動 ○ 地域や社会、生徒の実態に応じたキャリア教育 ○ 豊かな体験学習等を通じた心の教育
3 本年度の重点目標	① 基礎学力の向上を図るため、一律に到達目標を明示し指導する一方で、個人の能力に応じた到達度も的確に評価することで能動的な学びを定着させる。 ② 実社会に求められている「ホスピタリティマインドの醸成」の必要性を早期に気づかせ、商業教育と結びつけることで生徒の意欲的に学ぶ姿勢を引き出す。 ③ 常に地域社会貢献の視点を持ち、学校自らの情報を積極的に発信しながら、学校活動全般を通じて地域社会と共存する学校づくりを目指す。

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目			
重点取組			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
●学力の向上	○基礎的学力の向上と定着 ○学力診断・各種適性検査を活用	○家庭学習が定着したという生徒の割合85%以上 ○学力診断に基づく客観的分析の実施 問題解決できる生徒の割合70%以上	・就職試験に対応できる普通科の基礎学力定着を重点的に指導する。 ・主体的な進路選択ができるよう、客観的データを有効に活用しながら進路指導を行う。 ・商業科目の中で、資格取得の意義を理解させるとともに、資格の活用についても考えさせる指導を行う。 ・資格取得の有用性を考えさせる進路指導を行う。
	○確かな知識と技能の習得 ○高度な資格取得	○会計科は、3年次までに日商簿記検定2級の全員取得 ○情報処理コースは、3年次までに全商検定で4種目以上の1級取得 ○OAコースは、3年次までに全商検定で2種目以上の1級取得	
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	・授業や特別活動、部活動など教育活動における様々な機会を用いて、指導を行った教員の割合90%以上 ・SNSを適切に扱っているとする生徒の割合85%以上	・授業、特別活動、部活動など全ての教育活動において、道徳教育を念頭に置いた指導を行い人や社会の多様性、命の大切さ、他者への思いやりの心を身に付けさせる指導を行う。 ・SNSの取扱いや情報モラルについては、生徒指導だよりや講話など高い頻度で指導を行う。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止策について、日ごろから組織的に対応しているとする教員の割合90%以上 ○いじめを許さない教育が行われているとする生徒の割合80%以上	・いじめ覚知、認知の定義について職員会議等で周知徹底するとともに、対応マニュアルの見直しを行う。
	◎★ふるさと唐津への思いを醸成するための教育活動	◎佐賀県や唐津市(地元)に誇りと愛着を感じる生徒の割合を85%以上 (★月2回外部講師の招聘)	・地域の伝統文化に精通している人や地域貢献活動を行っている人を招いて講演会を行う。
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大事である」と考える生徒の割合を90%以上	・朝食喫食率調査を継続する。 ・手作り弁当を推奨する。
	○健康診断後の受診率向上	○健康診断後の各検査の生徒の再受診率を60%以上	・健康診断後の受診勧奨と保健指導を継続して行う。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・毎週水曜日を定時退勤日に設定する。 ・事務システムポータル活用の活用による連絡事項等の周知徹底を図る。 ・会議時の説明資料を整理し、会議時間の短縮を図る。
	○年休取得の推進	○教職員月1回以上の年休取得を目指す。	・定期考査中等の会議設定を極力控え、取得しやすい環境を整える。 ・部活動等の計画的実施を促進し、休養を取りやすくする。
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
重点取組			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
○地域貢献活動	○地域清掃・イベント活動参加を通して広く地域から支持される生徒づくりの育成	○虹/松原清掃活動を年2回以上行う。 ○各部活動で地域貢献となる活動を年1回以上行う。	・地域貢献活動を生徒へ呼びかけ、奉仕活動に対する取り組みの意識を高める。
○ビジネス教育の育成	○★SAGASマートラーニング指定校として実践型ビジネス教育を実施	○未来の唐津を担う人材として社会で活躍できる生徒を育成する。 ★月2回外部講師の招聘。 ○地元企業に求められる人材を育成する。商業高校で学んでいることが、ビジネスの現場でどのように役に立つかを教える。	・地元企業とコラボしてオリジナル商品の開発をし地域とつながる活動を行う。 ・地域行事やイベントに積極的に参加する。 ・企業インタビューやインターンシップを充実させる。年2回以上、地元企業経営者を招いて商業教育とビジネスのむずびつきを学ぶ。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり